

大規模公園整備時にサッカー専用グラウンドの整備を

自由民主党議員団 高橋 かずちか



専用グラウンドの整備により少年サッカーチームの活動を増やすことは、活動場所の分散化による大人の活動機会の確保にも有益で、競合する他の屋外スポーツの活動増加にも繋がる。①大規模公園整備にあたり、現存スポーツ施設の利用実態や関係団体の要望などを反映しているのか。②大規模公園での混合利用を緩和し、また、行動できる時間・範囲などに制約のある子どもたちに対応するため、(仮称)上高田五丁目公園などに専用グラウンドを整備しては。③中野四季の都市に進出予定のキリングループはサッカーへの理解が深く、区が購入予定の四季の森公園拡張用地でのスポーツ施設整備により、ネーミングライツの収入も見込まれる中、専用グラウンド整備への見解は。

発災時の効果的な援護活動に繋げるための取り組みを

区は減災の観点から災害時要援護者名簿を、また、地域支えあいの観点から見守り対象者名簿を作り、25年1月、両名簿の統合データベースを導入予定である。①このデータの活用方法は、②制度の正しい理解のため、要援護者名簿への掲載を希望する申請書の文字の拡大も含め、制度全般の周知方法にわかりやすくするための工夫が必要では。③地域で活動をする単位のブロック長・班長に、見守り対象者名簿を提供すべきでは。それが困難な場合には、最低限の情報に特化した二次情報を提供すべきでは。④

発災時に備えて、地域との関わりや情報を持たない住民を想定した救護マニュアルを整備し、その状況を加味した机上訓練を行うべきでは。⑤要援護者にも平時からの地域との関わりの重要性を認識してもらう必要がある。そのため、区の郵便物などにそれを喚起する書類を同封し、啓発しては。①区及び区の関係機関が平常時の見守り・支えあい活動に加え、災害時の安否確認などでの活用

盛岡市は税などの滞納理由に借金や多重債務がある場合、消費者相談を入口に債務整理を支援し、困窮状態を改善しながら生活再建を目指し、担税力を高め、収納率向上に努めている。このような総合的支援策を

滞納対策に生活再建を目標とする総合支援策の創設を

無所属 むとう 有子



創設してはいいかがか。

区長 納付相談時に生活状況を把握し、関係部署へ案内や誘導を行っている。屋の生活相談窓口改善を 11時50分に生活援護窓口へ生活相談に行った区民が、

1時に直出しよう断られた。この業務だけが12時〜1時は休止している。区民サービス向上にむけ、改善策を検討すべきではないか。

区は「施設整備や既存施設の活用を前提として充実を図る」と言うが、既存施設は条件の制約があり、施設整備は時間がかかる。具体的な手立てが必要では。子ども関連施設と保育園などが相互に補完しながら、子育て支援の充実を図っていく。

環境リサイクルプラザの廃止について問う

無所属 近藤 さな子



各区では家庭ごみ減量化のためコンポストのモニター制度などさまざまな工夫をしている。身近な施設での意識啓発が大事だが、廃止により気軽に立ち寄れる環境施設がなくなった。区

簿の提供先などをチラシで案内しているが、申込時の制度周知をさらに工夫したい。③災害時に活用できる情報は個人情報保護に抵触しない形で、町会・自治会への提供方法について検討したい。④今後、訓練の中に取り入れられるよう検討したい。⑤これまでも区報により啓発などしているが、効果的な方策を検討したい。

再編計画策定に全庁的な取り組み姿勢を示せ

無所属 いながき じゅん子



①学校と地域・家庭との連携について、学校がなくなる地区では特に心配している。再編後、どのように連携を図るのか。②公立学校は地域コミュニティの核であり防災拠点としての役割も担っている。学校再編は本来、教育委員会だけではなく全庁あげて取り組み、

さまざまな角度から議論検証されるべき課題であり、地域住民にもその姿勢をしっかりと見せていくべきでは。①学校支援ボランティアや、地区懇談会、次世代育成委員の活動などによるネットワークづくりと、健全育成事業推進に取り組んでいきたい。②再編

区民の理解を得て中野区の実情に合わせてシステムを機能させるため、現役子育て世代の声を反映させて育て世代の声を反映させて検討していく。

新規事業着手前に区有施設保全計画を示せ

無所属 林 まさみ



①中野中に地域開放型の地下温水プールを設置したこと、工事費が約7〜9億円増加し、維持費は毎年約4200万円多くかかる。現状の規模の区有施設を保有したままでは、今後1053億円の経費がかかる。状況の中、コスト意識に欠けると言わざるを得ないが、どのように考えているのか。民間プールの活用などは検討したのか。②25年度予算で検討中の南部地域スポーツクラブへの温水プール建設など、新規事業について

は、中野区施設白書を改定し、区有施設保全計画を示した上で取り組むべきでは。①区内の状況を踏まえ地域開放型のプールを設置することとし、精査した上で予算を示した。②区有施設保全計画を極力早く示したい。

地域支えあい活動の支援に取り組み

無所属 石坂 わたる



地域支えあい活動で、区職員は、支援を必要とする人と行政や民間及びボランティアなどのサービスとを結び付ける役割があるとき、区は、ボランティアの登録や育成について、

どのように取り組むのか。区長 今後、地域支えあい活動が広がっていく中、ボランティアの活躍が求められる。人材の把握や育成に取り組んでいきたい。

子ども子育て新システムに現役世代の声を反映させよ

無所属 小宮山 たかし



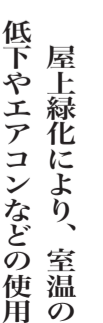
「子ども・子育て会議」の早期設置をしてはどうか。区長 今後国から示される方針を踏まえながら、検討していく。

計画の検討にあたっては、教育委員会以外の部や室とも協議しながら進めてきた。計画の策定後、さらに具体的な協議を行っていきたい。

商店街に新たな灯を照らせ 商店街の活性化のため、独自の収益事業として、街路灯への広告フラッグ掲出

屋上緑化を推進せよ

無所属 小宮山 たかし



屋上緑化により、室温の低下やエアコンなどの使用減によるCO2削減効果、さらに、脱原発を推進する効果も期待できる。民間のアイデアを活用して区有施設の屋上緑化を拡充しては。区長 区民団体などがさまざまな緑化活動ができるような運用を考えたい。

を可能にしてはどうか。区長 現在、許可基準の改定を検討している。弥生町の不燃化助成を問う 避難経路の整備にあたり、弥生町三丁目全域での不燃化助成をしてはどうか。区長 都と協議しているが、今のところ実現の見通しは立っていない。

